



Yoshinogawa Collection 2018

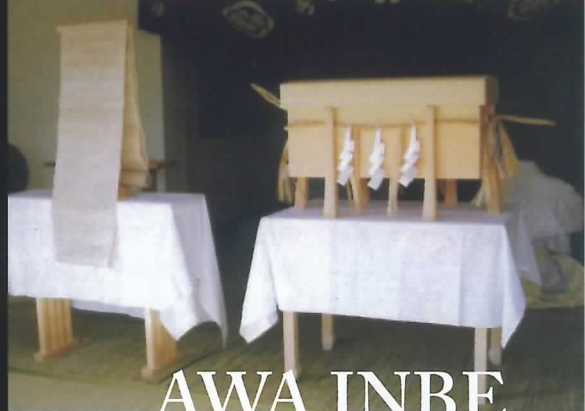


第13回 吉野川コレクション

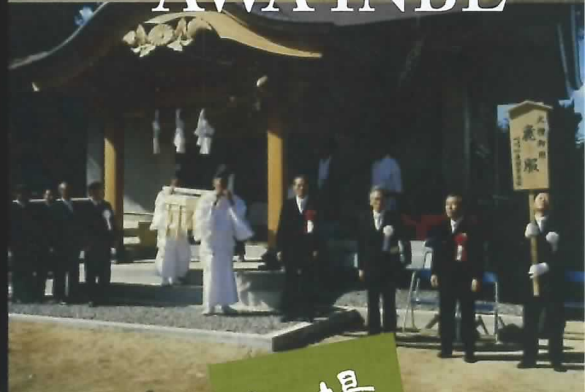
いんべ
あたらえ

忌部・麓服の里

in
Yoshinogawa



AWA INBE



2018.10/7 日 13:30-15:30
(12:30 開場)

会場：吉野川市鴨島公民館 3F (江川わくわくホール)
〒776-0011 徳島県吉野川市鴨島町鴨島甲1番地

入場
無料



プログラム

- 13:30 オープニングメッセージ演奏
記念演奏「ソラの郷へ」：阿部 一成 (篠笛演奏家・愛媛県新居浜市)
書の披露：吉野 美苑 (書道家)
オカリナ演奏：オカリナグループ アミンダ
- 14:00 開会のあいさつ
- 14:05 記念講演「忌部・麓服の里」
阿波忌部直系 三木家当主 三木 信夫
- 15:10 講演「大嘗祭と阿波忌部」
忌部文化研究会 会長 林 博章
- 15:15 記念演奏
NPO法人 太鼓の楽校 太鼓一家
- 15:25 閉会のあいさつ



三木 信夫

林 博章

主催

吉野川コレクション実行委員会
吉野川市鴨島公民館 指定管理者 株松島組

共催

一般社団法人 忌部文化研究所

お問い合わせ先

吉野川市鴨島公民館 TEL 0883-24-5111
(火曜日休館日)

● 徳島県あわ文化創造支援



出演者 紹介

第13回 吉野川コレクション いんべ あらたえ 忌部・鹿服の里 in Yoshinogawa



三木 信夫
阿波忌部直系
国重要文化財
三木家当主

1936年 徳島県美馬市 阿波忌部氏直系の三木家に生まれる。関西(かんせい)学院大学法学部卒業。現在、「NPO 法人全国重文民家の集い」代表幹事。国重要文化財 三木家住宅の管理者。三木家は、阿波忌部(いんべ)氏直系としての忌部氏であって、上古以来歴代の踐祚大嘗祭に、御殿人(みあらかんど)として「鹿服(あらたえ)」を調達して朝廷と深いつながりを持っていた。鹿服調達は、南北朝動乱に至り、以降中断していたが、復活して大正・昭和の大嘗祭にその任を果たしている。平成2年の大嘗祭は、旧木屋平村・山川町の大勢の方々の物心両面での支援と協力により「鹿服」調達の任を果たした。



林 博章
忌部文化研究会
会長

1965年 徳島市生まれ。青山学院大学法学部卒。2005年3月鳴門教育大学大学院修士課程修了(地理学)。1997年より古代史研究に着手。2004年に阿波歴史民族研究会を発足。「第一回全国忌部サミット」、「日本麻フェスティバル in吉野川市」など、県内外で講演依頼をこなす。県立高校社会科教諭。2011年に鳴門海峡と渦潮の世界遺産化、2012年に徳島剣山系の世界農業遺産化を提言。2018年には、四国中央部に位置する徳島県西部の「にし阿波」地域で、400年以上継承されてきた傾斜地農耕システムが国連食糧農業機関(FAO)によって世界農業遺産に認定された。専門は日本古代史。考古学、神話学、地理学、民俗学、文化人類学、伝承学、日本史(農業史・産業史)、文明論など学際的見地より研究を進めている。市民・行政・各産業界と連携し地域創生のため、さまざまな活動を展開している。



阿部 一成
篠笛演奏家

太鼓芸能集団「鼓童」に14年間在籍後、生まれ故郷の愛媛県新居浜市を拠点に、世界的振付家シディ・ラルピ・シェルカウイ氏や、人間国宝の観世流能楽師・津村禮次郎氏など、国内外の様々なアーティストとの共演を重ねている。これまでに世界30ヶ国で演奏。篠笛の魅力を伝えている。

■公式ウェブサイト
<http://kazunariabe.jp>



吉野 美苑
書道家

5歳のころより書道に親しみ、日々自己研鑽に励む傍ら、日本文化としての書道を広く海外の人々に知ってもらおうと欧米・アジアの国々で書のパフォーマンス・奉納・ワークショップを行っている。近年は「藍の墨」による作品制作に意欲的に取り組み、県外・国外へと発信している。2018年10月イタリア・トリノで開催される「ジャパン・ウィーク」参加。

■公式ウェブサイト
<http://hikkoutsukushi.sakura.ne.jp/>

**オカリナグループ
アミンダ**



2000年9月に結成されたオカリナ演奏グループ。「アミンダ」とは、エスペラント語で「可愛い」の意。活動は多岐にわたるが、特に保育所・幼稚園・老人福祉施設・障害児諸学校・病院等慰問活動を続けている。オカリナを奏する仲間達も県下で200名程在籍している。

**NPO法人
太鼓の楽校
太鼓一家**



和太鼓が発展途上である徳島の地で、「新しい和太鼓の風を!」という願いと、和太鼓の楽しさをより多くの人に伝えていきたいと願いを込めて、2011年秋に結成。日本の心である「祭りの音」、「土の香り」、「ふるさとを愛するところと感謝」を表現の芯に据え、各地の伝統的な和太鼓の演目を大切にしながら、現代的な新しい演目にも挑戦していき、より多くの方に“和太鼓の素晴らしさ”を伝えていくためにノーマライゼーション(normalization)を理念の軸に活動している。2018年10月イタリア・トリノで開催される「ジャパン・ウィーク」参加。

■公式ウェブサイト <https://taikonogakko.jimdo.com/>